

普及センター もりおか 2月

インターネットでオールカラーの記事が読めるよ！

いわてアグリベンチャーネット 普及センターもりおか

検索

第164号平成28年1月25日発行
盛岡農業改良普及センター
盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎
TEL 019-629-6726 FAX 019-629-6739

10月から
1月の普及
現地情報
を紹介
します

『もりおか広域花の女子会 2015』 × 『いわての花を考える会』 合同開催！

10月1日、もりおか広域花の女子会が開催されました。この女子会は生産者と花屋の交流を図り、生産意欲向上と花の消費拡大を目的としています。一方「花を考える会」は花き商組合など実需者が主体となった会です。今回は前半で生産者が生花店を、実需者は生産ほ場を視察して相互理解を深め、後半は「花を考える会」主催でフラワーアレンジメント選抜選手権を行いました。生花店を視察した生産者からは「それぞれの花屋に特色があるのが分かった」「管内の花がたくさん使われていて、嬉しかった」といった感想がきかれ、今後の生産意欲向上につながった様子でした。



りんご品種検討会（中生種）を開催

10月27日検討会を開催し、生産者、関係機関等21名が参加しました。この検討会は、地域に適する品種を選定することにより、品種構成の見直しや改植の促進を図ることなどを目的として毎年開催しているものです。当日は、果樹研究所リンゴ研究領域や岩手県農業研究センターが育成中の系統や、近年導入が進んでいる品種、計13点について検討しました。試食後の意見交換では、味、食感等の項目の評価は全般に低くはなかったものの「既存の樹を切って導入するには、より明確な特徴がほしい」との要望が多く出されました。また、昨年評価が高かった研究機関で育成中の系統は、果形が大き過ぎることが課題ですが、今年も味、食感の評価は最も高く、参加者からの注目を集めていました。



研究グループ活動しませんか！

- 管内では、現在、5つのグループ（会員数・6～11名）が、それぞれの地域で作物の栽培法や農産物加工、さらに販路開拓などをテーマにして活発に活動しています。
- 担い手育成基金助成事業（県農業公社）を活用すると、通常3年間、活動費の2/3（最大10万円/年）の助成が受けられます。

「風」を利用した労力軽減を検討！
～新規就農者等研修会を開催～



管内では、トマト・ミニトマトの新規就農者が多く、そのほとんどが、「労力不足」という課題を抱えています。特に、トマトの着果促進等のために行う「ホルモン処理」は、非常に時間のかかる作業の1つです。そこで、「ブローワーを使用した風媒受粉（ブローワー交配）」に注目！10月16日に、管内の新規就農者6名でブローワー交配を導入している奥州市江刺区のトマト・ミニトマト生産者2戸を訪問し、現地での導入事例調査を行いました。「風の強さは？」、「実施する時間帯、頻度は？」等と、自分たちの圃場に導入することを考えると気になることはいっぱい！ブローワー交配のこと以外にも「追肥は？」、「雇用は？」と参加者は熱心に質問し、非常に有意義な研修会となった様子でした☆

- テーマは地域農業の発展に向けたものなら自由。何かしようという仲間（青年農業者2人以上を含む3人以上）が集まって、計画書を作れば活動開始。

申請の希望・相談は2月末まで
盛岡農業改良普及センターに



エントリーしてみても！
（経営体育成チーム）

起業化支援チーム

～農家の皆さんとともに地域の活性化をめざして！～

起業化支援チームは、新規就農者、青年クラブ、農村起業、産直、生活研究グループ、女性農業者、食の匠、家族経営協定を担当しています。（青年クラブ活動は他チームの若手に担当してもらいながら。）新規就農者も、起業者も、産直も多い盛岡地域で、農家の皆さんとともに地域のますますの活性化のために、活動しています。



盛岡地方農村起業講座で、宮城県の農家レストランと加工の取り組みを視察



紫波郡生活研究グループ連絡協議会の視察研修会



今年度から若い消費者向け農業発信講座開催

盛岡広域ヤングファーマーズ・CREEIGHT(クリエイト)の総会

雨ニモマケズ風ニモマケズ・食の匠の技を伝えたい！

10月3～4日に、「もりおか広域まるごとフェア」において、食の匠の技実演会を実施しました。盛岡地方の特色ある郷土食をPRするとともに、食を核とした各地域での活動の活性化を図ることを目的として実施したものです。八幡平市から「そばかゆもち（けもち）」、「おこわのちまき」、滝沢市から「いなきび入りえびすまんじゅう」、「たかきび餅」を実演しました。多くの観客で食の匠を囲み、質問も出されるなど関心の高さが伺えました。



「若ぞう市」in もりおか広域まるごとフェア

10月3～4日に、もりおか歴史文化館前広場で開催された「もりおか広域まるごとフェア」に『盛岡広域ヤングファーマーズ・QRE EIGHT』が農産物直売会「若ぞう市」を出店しました！今回は組織名を変更してから初めての「若ぞう市」だったため、のびりを一新して参加！商品を購入していただいたお客様には『盛岡広域ヤングファーマーズ・QRE EIGHT』がどんな組織かという説明を書いたカードを渡して、活動をPRしました。



「小学生親子農業体験」開催！！

「若い消費者向け農業発信講座」第3回目として、10月10日に小学生親子農業体験を開催し、8家族19名が参加しました。午前中は、盛岡市乙部の産直「花山野」でさつまいも掘り体験、その後、黒川の「りんご工房さただ」に移動し、蔵の中で「食の匠」のお弁当での昼食会、りんご収穫体験・ジャム作り体験を行いました。参加者した親子は、地域の農業や農産物について知るきっかけになり、また農家と交流もできたことに大変満足している様子でした。



先輩に学ぶ農業経営～新規就農者研修会を開催～

新規就農者フォローアップ研修会を12月16日に開催し、就農から5年目までの農業者、これから就農する研修生、合わせて12人が参加しました。現地視察は、紫波町の農事組合法人水分農産で野菜生産販売につて、株式会社高橋農園で農産加工等6次産業化を勉強しました。意見交換会では研修参加者から、各自の課題や今後の抱負を発表し、視察先の組合長、社長から先輩農業経営者としての経験を踏まえた助言をもらい、参加者の経営発展に向けた研修会となりました。



